

## 第1回ワークショップでの意見

(1) 柿木図書館

●残したい良さ

## 参考資料 2

意見	要旨	関連する"取組への期待"
静かな環境で、読書や勉強がしやすい。（1班）	緑に囲まれた静かな落ち着いた空間なので、読書や勉強をするのに適した環境だ。窓が多く、外の緑（木）の景色がよく見えるのが良い。	③周辺環境との調和 ④落ち着いて過ごせる場所の創出
緑（木）が多くがあり、窓も多いため、外の緑（木）の景色がよく見える。（1班）		
2階は静かな場所なので、読書や自習に適している。（3班）		
緑に囲まれた心地よい環境で、地下の講座室からも緑がよく見える。緑の見える範囲をもっと広げると良いのでは。（3班）		
落ち着いて勉強のできる環境になっている。（4班）		
窓から緑が見えるので、ゆっくり落ち着いて本が読める。（5班）		
昭和感があり、落ち着いた雰囲気で、どんな人でも入りやすい。（1班）	昭和感があり、どんな人でも入りやすい。	①誰にとっても使いやすい ④落ち着いて過ごせる場所の創出
講座室があるため、おはなし会や映画会等多目的に使用できる。（5班）	講座室があるので、おはなし会や映画会等多目的に使用できる。	①誰にとっても使いやすい ⑨土地・建物の有効活用
障害者用駐車スペースがある。（5班）	障害者用駐車スペースがあるのは良い。	①誰にとっても使いやすい
児童用の小上がりスペースが、少し奥まった場所にあり、子どもが多少騒いでも許される感じがするので、親子で利用しやすい。周囲の利用者にも配慮された配置になっている。（3班）	児童コーナーに小上がりのスペースがあり、親子でくつろげ、利用者同士の交流も生まれるのが良い。少し奥まった場所なので、子どもと一緒にあまり周囲に気を遣わずに居られ、読み聞かせもできる。	②地域の人々が集い、交流が生まれる ⑥子どもがのびのびと育つ
児童用の小上がりスペースは、子どもと一緒にリラックスして座って過ごせ、利用者同士の自然な交流も生まれている。小さい子はつい床に座りがちなので、安心して座れる場所があるのはありがたい。（3班）		
児童図書コーナーの絨毯の場所が親子でくつろげて本が読めるため、残して欲しい。（4班）		
児童コーナーに小上がりの「おはなしの部屋」や椅子と円卓があるため、子どもが座ったり、寝そべったり、本を広げたり、自由に読書が楽しめる。（5班）		
声を出して本を読み上げることができる、子どもへの読み聞かせができる部屋があるのがよい。（6班）		

子どものころ、集積書架の秘密基地のような感じが好きだった。（5班）	子どものころ、集積書架の秘密基地のような感じが好きだった。	⑥子どもがのびのびと育つ ⑧地域のシンボル性や歴史の継承
開架書庫があって、たくさん本があるので良いと思う。（1班）	開架書庫があって、たくさん本があるので良い。	①誰にとっても使いやすい
建物にデザイン性があり、地域のシンボルである。（1班）	建物が建設当時としてはモダンで、古き良きデザインだと思う。館名のフォントも良い。地域のシンボルとなる建物になっている。	⑧地域のシンボル性や歴史の継承
コンクリート打ちっぱなしの当時としてはモダンな建物。デザイン性のある外観、美しい建築物として、60年間地域のシンボルになってきた。（6班）		
外観が古き良きデザインであり、館名のフォントも素敵だ。（3班）		
緑に囲まれた施設として、既存の樹木を残して欲しい。（2班）	緑に囲まれた図書館らしい佇まいが他の図書館にはない美点であり、敷地内の柿の木やメタセコイアは施設のシンボルになっている。敷地内の樹木を残してほしい。	③周辺環境との調和 ⑧地域のシンボル性や歴史の継承
敷地内に、柿木やメタセコイアが植えられていて、杉並区立柿木図書館として特色ある樹木が植えられていること。（2班）		
緑が多い点。（5班）		
周囲の大きな木は建替える際に移植して欲しい。あれだけ大きな木は貴重。（4班）		
木々の配置と図書館らしい佇まいが他の図書館にはない美点である。（4班）		
駐輪場にある豆柿の木は、図書館のシンボルなので残して欲しい。（3班）		
「柿の木」という地域の地名に由来する図書館であるため、移転せずにこのままの場所が望ましい。（2班）	アクセス、立地が良いので、誰もが行きやすい。地名に由来する図書館でもあり、今の場所に残すことが望ましい。	①誰にとっても使いやすい ⑧地域のシンボル性や歴史の継承
アクセス、立地が良くて誰もが行きやすい。（4班）		
職員さんが親切で温かく、目が行き届いている。また、小学校での定期的な読み聞かせなどの活動を続けてほしい。（1班）	職員が親切で温かく、目が行き届いている。小学校での定期的な読み聞かせなどの活動は続けてほしい。	⑤安全・安心の確保 ⑥子どもがのびのびと育つ
施設名に旧の地名（柿木）を残したい。（1班）	施設名に旧の地名「柿木」を残したい。	⑧地域のシンボル性や歴史の継承
オリジナルキャラクターがアットホーム感やオリジナリティを生んでおり、子どもも喜びそう。（1班）	オリジナルキャラクターがアットホーム感やオリジナリティを生んでいる。	⑧地域のシンボル性や歴史の継承

## ▲改善したい点

意見		
全体的に古く、外観・内観ともに明るさがない。（6班）	閲覧スペースをはじめとして多くのスペースが狭い。外観・内観の暗さや空調の効きが悪いことなど、施設の老朽化を感じる部分がある。	①誰にとっても使いやすい ⑨土地・建物の有効活用
開館当初は閉架式で、机が並べられて大勢が読書、勉強していた。今では、本が増えて閲覧スペースが狭くなってしまった。閲覧スペース、学習スペースをもっと広くとって欲しい。（6班）		
閲覧スペースについても拡充して欲しい。（4班）		
パーソナルスペースをもう少し確保できると良い。（4班）		
共有スペースに閲覧できるスペースがもっとあると良い。（4班）		
2.5階の書架は、空調の効きが悪く、階段が急で、椅子が少ないので居心地が悪い。（3班）		
飲み物が飲めたり、小声で話せるスペースがあるといい。（6班）		
食事ができるスペースがあると、放課後や仕事帰りに利用しやすい。（5班）		
カフェのように使えるスペースがあると、本を読むために来館する人などの、利用率向上につながる。（3班）		
ベランダを自習や飲食スペースとして使えるようにしてほしい。（3班）		
屋上やバルコニーから緑が見られるようになると良い。（2班）		
町会の行事や会合で利用できるスペースがあるといい。（6班）		
テレワークができるスペースやグループワークをしたり勉強ができるスペースが欲しい。（5班）	自習スペースが足りておらず、休日は10時には満席になっていることが多い。学生の利用やテレワークなど需要があると思うので拡充できるとよい。	④落ち着いて過ごせる場所の創出 ⑨土地・建物の有効活用
自習スペースが少ない。（5班）		
自習スペースや飲食ができるスペースがほとんどないため、拡充や新設できると良い。（4班）		
自習スペースが少ないように思うため席数が欲しい。座れないと思うと足が遠のいてしまう。休日は10時に満席になっている印象がある。（3班）		
学生が利用できる学習スペースの拡充を図って欲しい。（2班）		
2階の机と椅子が少ない感じがする。勉強している学生もいるので増やしても良いのでは。（3班）		

児童書スペースの床に清潔感がない。（6班）	乳幼児をはじめとした子どもの居場所となるスペースがあり、子どもと一緒に過ごせる場所があるとよい。	④落ち着いて過ごせる場所の創出 ⑥子どもがのびのびと育つ  ⑨土地・建物の有効活用  ③周辺環境との調和 ④落ち着いて過ごせる場所の創出 ⑧地域のシンボル性や歴史の継承
親が本を選ぶ間に、子どもを遊ばせられるよう、キッズスペースがあると良い。（3班）		
1階に0-1歳向けのコーナーがあると、平日に家庭保育をしている世帯の居場所となる。（3班）		
椅子はあるが、子ども用の机が少ない。（1班）		
デッドスペースを改善し、勉強用の机を増やす。（1班）		
地下スペースの人目がなく、イベント時にしか使用できないので、廃止して書架や学習スペースを増設してほしい。（5班）		
講座室の使われ方がもったいない。図書館の中でも大きなスペースを取っているが、講座等が無いと使わない場所となっている。（3班）		
図書の分担収集分野として「自然科学、医学・薬学」となっているが、専門書は中央図書館に担ってもらい、一般図書の充実を図り、限られたスペースを有効に活用して欲しい。（2班）		
地下ドライエリアを設けるなら、中央図書館のようにベンチを置くなどし、有効利用出来ると良い。（2班）		
玄関前、施設外にゆとりがあるが、十分に活用されていないように思う。中央図書館の読書の森のように、外で本を読めるスペースを設けるなど、森と一体感のある造りにできなかいか。（6班）		
地下の講座室が使われていないのはもったいないので、イベント時以外はフリースペースとして開放してほしい。（1班）		
開放感や連続性を持たせるため、壁などの仕切りを少なくするとともにガラス張りのような作りが望ましいと思う。（2班）	解放感や連続性のある施設のつくりや、ソファ席などくつろげるスペースの整備、地名から連想されるイメージを組み込むなど、③周辺環境との調和や施設のデザインにこだわるべき。	③周辺環境との調和 ④落ち着いて過ごせる場所の創出 ⑧地域のシンボル性や歴史の継承
ソファ席などのくつろげる場所のバリエーションを増やしてほしい。（蔵書は減らしても良い。）（1班）		
地名（柿木）に木が入っているため、温かみのある木を使用した施設にしたい。（1班）		
周辺の緑を感じられるような座席がもっとあっても良い。（3班）		
中央図書館の「本の広場」のような屋外の読書スペースなどが欲しい。（5班）		

男女共にトイレが古い。多目的トイレがない。（1班）	バリアフリー未対応のトイレや使いにくい椅子とテーブルなどを改めてほしい。公衆電話は子供が使うので残してほしい。	①誰にとっても使いやすい ⑦高齢者の居場所の確保
地下1階の男女共用トイレは男女別にして欲しい。（2班）		
トイレの便器が2つしかなく、そのうち1つが和式。トイレが狭いので広くして、バリアフリートイレも設置してほしい。（6班）		
トイレが古いため、子どもが使用したがらない。（4班）		
トイレの扉が重く開閉しづらい。（4班）		
公衆電話は、携帯電話を持たない子どもが使うので残してほしい。（1班）		
椅子やテーブルが古く、使いにくい。椅子は背もたれがあるものにしてほしい。（6班）	エレベーターの設置などバリアフリー化し、ベビーカー利用者や高齢者にも使いやすいようにするべき。	①誰にとっても使いやすい ⑥子どもがのびのびと育つ ⑦高齢者の居場所の確保
子ども用エリアが狭いので、ベビーカーで入りやすいような動線にしてほしい。（1班）		
エレベーターの設置を含めバリアフリー化をしてほしい。（2班）		
入口はバリアフリーだが、内部は狭くて急な階段しかないと、高齢者等のためにもエレベータの設置などバリアフリー化してほしい。（1班）		
エレベーターを設置するなど、バリアフリー対応してほしい。（6班）		
エレベーターの設置、バリアフリー化は絶対必要。（3班）		
エレベーターやスロープがあると2階を使いやすくなる（ベビーカーや車いすの方にとって）。（3班）		
3階への急階段。（5班）		
外階段はスロープにして、バリアフリー対応にした方が良い。（4班）		
換気がうまくできていないのか、においが気になることがある。（6班）	古書のにおいが気になることがあるので換気がしっかりとできるようにするべき。	⑤安全・安心の確保
古書の臭いなのか、階段を上がる途中からにおいが気になることがある。（5班）		

樹木が多く見通しが悪いため、夕方や夜間はうっそうとしていて近寄りがたく、怖い印象がある。（5班）	樹木が多いため見通しが悪く、周辺に外灯が少ないとから怖い印象がある。立ち寄りやすい環境を整備するべき。	③周辺環境との調和 ⑤安全・安心の確保
図書館周辺は、外灯が少なく夜間は怖い。まずは、施設のうっそうとした樹木を選定するなど外観を整備し、立ち寄りやすい環境を整備とともにリスク管理をしてほしい。（5班）		
外構が暗いため、明るくしてほしい。（4班）		
現在、1階児童図書コーナーの横のトイレに「不審者に注意」の旨の掲示があるが、逆に不安に思う。こうした掲示を必要としない安全対策をして欲しい。（2班）		
もう少し木の手入れをしてほしい。蚊が多くて、子どもが駐輪場で刺されてしまう嫌だ。（1班）	もう少し木の手入れをしてほしい。蚊が多くて、子どもが駐輪場で刺されてしまう嫌だ。	③周辺環境との調和 ⑤安全・安心の確保
建物が古くて狭い。古いから建物内も暗く、自然の光が入り込むようにしてほしい。（1班）	建物が古くて狭い。古いから建物内も暗く、自然の光が入り込むようにしてほしい。	③周辺環境との調和
図書館に集会所を併設すると良いのではないか。図書館も集会所も区民に開いた施設なので、互いに相性がいいし共有できるスペースもありそうだ。（4班）	図書館に集会所を併設すると良いのではないか。図書館も集会所も区民に開いた施設なので、互いに相性がいいし共有できるスペースもありそうだ。	⑨土地・建物の有効活用
雨の日に車で図書を返却できるよう、短時間駐車できる場所が欲しい。（6班）	雨の日に車で図書を返却できるよう、短時間駐車できる場所が欲しい。	①誰にとっても使いやすい
図書館の平日利用の拡大が必要。平日は閑散としている。（3班）	図書館の平日利用の拡大が必要。平日は閑散としている。	⑨土地・建物の有効活用
子どもが将来を考える際に、選択肢が多くなるためには、蔵書の種類が多い方が好ましいため、選書については検討した方が良い。（4班）	子どもが将来を考える際に、選択肢が多くなるためには、蔵書の種類が多い方が好ましいため、選書については検討した方が良い。	⑥子どもがのびのびと育つ
周辺地域での児童向けのイベント日程が重なっていることが多く、参加したいイベントのどちらかにしか参加できない。（3班）	周辺地域での児童向けのイベント日程が重なっていることが多く、参加したいイベントのどちらかにしか参加できない。	⑥子どもがのびのびと育つ

## (2)四宮保育園

### ●残したい良さ

意見	要旨	
子どもたちの声が地域に活気をもたらしている。（6班）	日当たりのよさや子どもの声が聞こえることで地域が活気づいている。	③周辺環境との調和 ⑥子どもがのびのびと育つ
日当たりが良い。（夏は良すぎるかもしれないが）（4班）		
広い園庭があり、部屋からすぐに園庭に出られ、外遊びの機会が十分に取れるのがよい。（6班）	部屋と園庭が一体的に利用できるようになっている。	⑥子どもがのびのびと育つ ⑨土地・建物の有効活用
保育室と園庭が一体で利用できるところ。（5班）		
園庭が広く、園児が多様な遊び方を選択することができる。（5班）	園庭が広く、多様な遊び方ができる。	⑥子どもがのびのびと育つ
園庭が広いため、改築後も広さを確保できると良い。（4班）		
園庭の広さ。（1班）		
1階にあるので園庭へのアクセスが良く、開放的な環境で中から外の様子も確認できるので、安全性も高い。（1班）	ワンフロアで開放的なつくりになっているため、フロア全体や外の様子が見通せて、安全性が高い。安心して子育てができる環境が整っている。	③周辺環境との調和 ⑤安全・安心の確保
ワンフロアなので全体に目が届き、安全性が高い。（1班）		
住宅地の中にあるので、車通りが少なく子どもの安全が確保しやすい。（4班）		
安心して子育てができる環境が整っている。（4班）		
コンパクトで目が届きやすい園庭の広さが良い。（3班）		
通園する園児、保護者の送り迎えの経路を変えないため、現在の場所で更新することが望ましいと思う。（2班）	通園する園児、保護者の送り迎えの経路を変えないため、現在の場所で更新することが望ましいと思う。	①誰にとっても使いやすい ⑥子どもがのびのびと育つ
遮光ネットの設置など、園庭等の工夫が多くみられる。（1班）		
経験豊富な区職員による保育が安心だと感じている。（2班）	経験豊富な職員がいてくれる安心感があり、遮光ネットの設置など工夫されている。駐輪場所を移動させるなど近隣住民への配慮をする姿勢も良い。	⑤安全・安心の確保 ⑥子どもがのびのびと育つ
近隣住民に配慮して、保護者の駐輪場所を移動させるなど、地域の中で共生を図ろうと取り組んでいる姿勢、仕組みがよい。（6班）		
中核園としての機能を維持したい。（1班）		

▲改善したい点

意見		
保護者会を行う会議室や講堂、遊戯室などの広いスペースがない。他の施設でも2階などに設置している。（1班）	他の施設には設置されている遊戯室がないため、保護者会などを行える広いスペースがない。廊下や諸室、駐輪スペースも不十分であると感じる。	①誰にとっても使いやすい ⑥子どもがのびのびと育つ ⑨土地・建物の有効活用
エレベーターや遊戯室（ホール）の設置。（6班）		
ホールのような多目的な活動ができる場所がない。（5班）		
廊下も含め諸室が狭く、保育施設として十分なスペースを確保しているとは思えない。（5班）		
自転車登園の人が多い割には駐輪スペースが少ないと感じる。（4班）		
障害児を受け入れるための特別室の設置。（6班）	障害児を受け入れるための特別室の設置。	①誰にとっても使いやすい
園庭は遊具がいっぱいあって良いけど、ごちゃごちゃしているように感じた。走り回れるような運動場にしてほしい。（1班）	園庭は遊具がいっぱいあって良いけど、ごちゃごちゃしているように感じた。走り回れるような運動場にしてほしい。	⑥子どもがのびのびと育つ
園庭は遊具が少なく、日よけシートが劣化している。（3班）	園庭は遊具が少なく、日よけシートが劣化している。	⑥子どもがのびのびと育つ
園庭が狭いので運動会等の時に、クラス毎に入れ替わるなどの工夫が必要で、少しさみしい。（1班）	園庭が狭いので運動会等の時に、クラス毎に入れ替わるなどの工夫が必要で、少しさみしい。	①誰にとっても使いやすい
保育園は単独として、図書館とゆうゆう館と区民集会所を併設してはどうか。（4班）	保育園は単独として、図書館とゆうゆう館と区民集会所を併設してはどうか。	⑨土地・建物の有効活用
移転する場合は併せて運営を民営化したらと思う。（2班）	移転する場合は併せて運営を民営化したらと思う。	⑨土地・建物の有効活用

### (3)ゆうゆう四宮館

#### ●残したい良さ

意見		
集会室の日当たりが良く、明るくて良い部屋だ。(4班)	集会室の日当たりが良く、明るくて良い部屋だ。	③周辺環境との調和 ④落ち着いて過ごせる場所の創出
人が集い、繋がりが生まれる集会機能があると思う。(2班)	集会室の一体使用もできるため、多目的に使うことができる。つながりが生まれやすい集会機能になっている。	①誰にとっても使いやすい ②地域の人々が集い、交流が生まれる ⑦高齢者の居場所の確保 ⑨土地・建物の有効活用
スペースを広く使っているところがよい。(6班)		
多目的に使えるところがよい。(6班)		
フローリングの2部屋を一体利用できるため、体操やヨガなどの軽運動がしやすい。(5班)		
一般和室（畳の上）で椅子を使用できる。(1班)	一般和室（畳の上）で椅子を使用できる。	④落ち着いて過ごせる場所の創出
今利用している方達のため、現在の場所での更新が望ましい。(2班)	保育園との併設は、子どもの声で元気をもらえることや、将来的な区民ニーズの変化に対応できるためメリットがある。現在の利用者にも配慮して、現在の場所で更新するのが良い。	③周辺環境との調和 ⑨土地・建物の有効活用 ⑩将来世代の負担軽減
保育園と併設していて、高齢者は子どもの声を聴いて、遊ぶ姿を見て元気をもらえる。(6班)		
ゆうゆう館と保育園が併設していれば、将来的に利用者に増減があった場合に、それぞれ利用できる部分の広さを変えられるのでは。(6班)		
保育園と併設しているので、子どもの声が聞こえ、元気をもらえる。(3班)		
いろいろなカリキュラムの協働事業があり楽しそう。(5班)	いろいろな協働事業のほか、保育園との交流の機会などがあつてありがたい。施設もきれいで保たれている。	②地域の人々が集い、交流が生まれる ⑦高齢者の居場所の確保
建物は古いが綺麗に保たれており、明るく開放的である。(4班)		
保育園との交流があることがありがたく、祭りなどイベントの合同開催も継続して欲しい。(3班)		

▲改善したい点

意見		
窓口が狭い。登録等の手続きを行う際のスペースがない。（5班）	広い窓口の設置や靴のまま入れる仕様、自転車置き場のスペース確保など利用者の利便性を向上させるべき。	①誰にとっても使いやすい
靴のまま入れるようになると良い。（1班）		
自転車置き場などのスペースが狭い。また、扉の開閉が必要なため面倒くさい。（1班）		
給湯室は必要なのか。用途があるならば残しても良いと思うが。（4班）	給湯室は必要なのか。用途があるならば残しても良いと思うが。	⑨土地・建物の有効活用
活動はさせてあげたいが、住宅街なので周囲への影響に配慮して防音性を考慮するべきである。（4班）	活動はさせてあげたいが、住宅街なので周囲への影響に配慮して防音性を考慮するべきである。	③周辺環境との調和
歩きやすいスロープを設ける必要がある。（2班）	バリアフリー化できておらず高齢者や車いすの方にとって不便である。雨の日はスロープが滑りやすいなどの危険もある。	①誰にとっても使いやすい
エレベーターの設置を含めバリアフリー化をして欲しい。		⑤安全・安心の確保
高齢者をターゲットにした施設なのに、2階にあって、入口まで長いスロープを通らなければならないのは不便。（6班）		⑦高齢者の居場所の確保
車椅子の人にとって、四宮館のスロープはアクセスしづらい。（1班）		
スロープは雨の日に高齢者が滑って最悪だ。（1班）		
出入口のスロープが直接道路につながっているので危険ではないか。（1班）		
入口までのスロープが長すぎるため、上るのはつらい。（5班）		
お年寄りのための施設なのに、スロープが長く傾斜がきつい。（4班）		
エレベーターがない。（1班）		

スロープの先に玄関あって、道路からは見えない。入りやすい施設にするためには、出入口を分かりやすくする必要がある。（2班）	外から出入口が見えにくいため入りづらい雰囲気がある。バス停からも遠く利用者が限定される。	①誰にとっても使いやすい
開放感や連続性を持たせるため、壁などの仕切りを少なくするとともにガラス張りのような作りが望ましいと思う。（2班）		
スロープが長く、出入り口もわかりづらいので、アクセス性を良くして欲しい。（3班）		
玄関がスロープの先にあって、道路から見えないので入りづらい。（1班）		
保育園の2階にあるため、存在を知らなかった。初めての人が入りやすい雰囲気づくりをするなどの仕組みがあったら良いと思う。（5班）		
2階にあることやバス停等から遠いなど立地が悪く、利用できる対象者が限定される要因になっている。体調が良く天気も良いなどの条件が整わないと通いにくい。（1班）		
スロープが曲がっているため、緊急時に担架が利用できるのか疑問。（5班）	スロープが曲がっているため、緊急時に担架が利用できるのか疑問。	⑤安全・安心の確保
区民集会所と一体的に整備することで、多世代がフレキシブルに利用出来る施設が望ましいと思う。（2班）	多世代がフレキシブルに利用できるように、区民集会所と一体的に整備するなど利用者の年代の幅を拡大する必要がある。	①誰にとっても使いやすい ⑨土地・建物の有効活用
ゆうゆう館利用者の高齢化が目立つため、利用者の年代の幅の拡大が必要。（3班）		
バリアフリーの課題、部屋の広さが必要なことなどを踏まえると、ゆうゆう館と区民集会所を一体化するのがよいのでは。（6班）	バリアフリーの課題、部屋の広さが必要なことなどを踏まえると、ゆうゆう館と区民集会所を一体化するのがよいのでは。	①誰にとっても使いやすい ⑦高齢者の居場所の確保 ⑨土地・建物の有効活用
高齢者が子どもたちにお手玉や竹とんぼなどの昔遊びを教えるワークショップを開催し、世代間の交流が生まれると良い。（3班）	区民集会所との連携や高齢者が子どもたちに昔遊びを教えるワークショップの開催を通じて世代間の交流が生まれると良い。そのためにフェンスをなくすことはできないか。	②地域の人々が集い、交流が生まれる ⑥子どもがのびのびと育つ
四宮区民集会所との連携ができると良い。四宮区民集会所とフェンスで間を隔てているので、フェンスをなくして交流を増やせないか。（1班）		
60歳以上の料金が無料になるのは、昔の感覚にも思えるがどうなのか。（4班）	60歳以上の料金が無料になるのは、昔の感覚にも思えるがどうなのか。	①誰にとっても使いやすい

(4)四宮区民集会所

●残したい良さ

意見	要旨	
音の出る活動ができる交流の場として必要。 (5班)	音の出る活動ができる。	①誰にとっても使いやすい
人が集い、繋がりが生まれる集会機能があると思う。 (2班)	人が集い、繋がりが生まれる集会機能があると思う。	②地域の人々が集い、交流が生まれる
子どもにとっては、一緒に遊ぶ際に集まりやすい場所となっている。(ゲームなどをしている。) (4班)	談話コーナーはいつでも使って集まりやすい。	②地域の人々が集い、交流が生まれる
いつでも自由に使える談話コーナーがあるのがよい。 (6班)		④落ち着いて過ごせる場所の創出
フリースペースにはフリーWi-Fiがあり、軽食もできるところがよく、区民のニーズに答えてくれている。 (3班)	ネットやリソグラフ、鏡、キッチンなど設備が充実している。	①誰にとっても使いやすい
リソグラフが使用できるので、大量の資料を短時間で印刷できる。 (1班)		
学習にネット環境は必要となっているため、学習コーナーでWiFiが使えるのは良い。 (5班)		
集会室にキッチンがあったり鏡を設置したりと、使い勝手が良いように工夫があるところは良い。(4班)		
施設の設備が充実しているところは良い。(4班)		
会議室やコピー機があり、町会活動の拠点として有効に活用している。今の場所にあることが重要。 (6班)		
地域で最も近い集会所である。 (1班)	近隣の施設とのバランスなどを踏まえて、現在の位置で更新することが望ましい。	①誰にとっても使いやすい ③周辺環境との調和
近隣の集会施設配置のバランスから、現在の場所での更新が望ましい。 (2班)	春祭りや餅つきは地域に根付いている。梅林も祭りの際に使っている。	②地域の人々が集い、交流が生まれる ⑧地域のシンボル性や歴史の継承
春祭りや餅つきは地域に根付いている。梅林も祭りの際に使っている。 (1班)		
施設が綺麗に使用されていて、落ち着いた雰囲気がある。 (2班)	施設が綺麗に使用されていて、落ち着いた雰囲気がある。	④落ち着いて過ごせる場所の創出
子どもへの帰宅誘導など、来館者との程よい接点を作っていて、それが安心につながっている。 (6班)	子どもへの帰宅誘導など、来館者との程よい接点を作っていて、それが安心につながっている。	⑤安全・安心の確保
集会所の敷地ではないが、梅林を残してほしい。 (5班)	集会所の敷地ではないが、梅林を残してほしい。	③周辺環境との調和

## ▲改善したい点

意見	要旨	
談話コーナーや学習スペースの拡充を図る必要がある。 (2班)	スペースの有効活用を検討して、勉強やワークスペースとして談話コーナーを拡充するべき。集会室は広い部屋を整備して大人数の集まりにも対応できるようにするべき。	①誰にとっても使いやすい ⑨土地・建物の有効活用
談話コーナー、安全パトロールステーションの使い方がもったいない。工夫をすればもっと有効に活用できる。 (6班)		
談話コーナーを拡充して欲しい。高校生やワークスペースなどで使う人が増えるように、机・電源モニターなどを設置すれば良いのでは。 (1班)		
広い部屋がないので、大人数の集まりが開催できない。 (3班)		
部屋の数が少ないこと。ただし、部屋の予約の競争率は低い。 (1班)		
開放感や連続性を持たせるため、壁などの仕切りを少なくするとともにガラス張りのような作りが望ましいと思う。 (2班)		
移動式の姿見だと部屋が狭く感じる。大人数で利用する際には、部屋から出すのが手間になっている。壁面に括り付けの鏡を設置して欲しい。 (2班)	壁面への鏡の設置や防音仕様にするなどの設備面や、時間や場所等をシェアする仕組みなどを通じて色々な利用者ニーズに対応するべき。	①誰にとっても使いやすい
集会室は防音使用にすると楽器演奏やダンスなどの利用に便利だと思う。 (2班)		
時間や場所等をシェアできる仕組みが必要。小・中学生と高校生では、ジェネレーションギャップや活動量に違いがあり、一緒に施設の中で活動するのは無理だと思う。 (5班)		
トイレが狭く、便器も少ないので改善して欲しい。 (6班)	トイレが狭く、便器も少ないので改善して欲しい。	①誰にとっても使いやすい
北側の入り口だけでなく、隣接する施設からもアクセスできると利用率が上がると思う。 (3班)	建物が奥まったところにあり、利用しにくい。梅まつりのときは利用者が滞留している。	①誰にとっても使いやすい
「梅まつり」を集会所で毎年開催しているが、出入口までの通路が狭く、来館者が滞留してしまう。 (5班)		
建物が奥まっているため、何を行っている施設か分からず入りにくい。 (5班)		
出入口が分かりづらいため施設の様子が分かりにくく、利用しにくい。 (3班)		
道路からの入口がもう少し目立つと良い。交流施設であることが分かりづらい。 (1班)		

ゆうゆう館と区民集会所の両方に会議室などの同じ機能があり、施設の違いが分からない。2つの施設を分ける必要があるのか。(4班)	会議室など同じ機能を持ったゆうゆう館と区民集会所は一つの施設としてもよいのではないか。または、行き来できるようにして一体的に活用することも可能ではないか。	⑨土地・建物の有効活用
区民集会所とゆうゆう館は合併してもよいのではないか。(4班)		
区民集会所とゆうゆう館は隣の敷地なのだから、行き来できるような通路があれば共有施設として活用できるのでは。(4班)		
利用予約が無い時間帯は自由に開放して欲しい。(和室は稼働率がとても低い。) (1班)	利用率が低いので、空いている時間は開放できるとよい。	⑨土地・建物の有効活用
和室の利用率が低いため、空いている時間帯はフリースペースとして開放することで、利用率の向上につながるのではないか。(3班)		
支払のキャッシュレス化を進めて欲しい。(4班)	支払いのキャッシュレス化や利用方法の分かりやすさの改善などを通じて、利用しやすい施設にするべき。飲食ができるようになるとより利用されると思う。	①誰にとっても使いやすい
集会所があまり知られていなく、お祭りのときだけ入る場所という印象がある。(3班)		
施設の利用方法がわからないので、今後も利用しようと思えない。(3班)		
夏休みの宿題に取り組むなど、子ども向けのワークショップを開催することで、施設利用のきっかけになるのでは。(3班)		
荻窪会議室のように受付窓口を置かずに無人化をしてはどうか。(2班)		
懇談会などで集会室を利用する場合に飲食ができるようにして欲しい。(2班)		
近隣の飲食店が減って、町会の懇親会を開く場所がなくなった。飲食、飲酒を伴う懇親会ができる部屋があるとよい。(6班)		
さざんかネットのページが分かりづらいため、予約がしづらく面倒である。(4班)		
隣接する梅林と一体的な施設となるとより有効な活用が図られると思う。(2班)	隣接する梅林と連携して自然とのつながりや有効活用をしてほしい。	③周辺環境との調和 ⑨土地・建物の有効活用
隣接する梅林などを活かしてほしい。自然とのつながりを大切にして欲しい。(3班)		